

一般質問

野員
尾 議

- 一、主要地方道佐世保・吉井・松浦線の
栢木・庄野間改良工事計画について
二、生活交通バス路線と乗合バス運行の
見直しについて

質問

答 弁

一、当初計画では、平成20年度完成を目指し進めてこられたが、未だに工事着工の見込みすらたっていない状況である。(1)現在、進捗状況はどうなっているのか。(2)今後の計画及び完成年度はいつになるのか。(3)栢木・上野・庄野地区は、交通安全上からも被害を被っており、歩道の確保、信号機や横断歩道の設置等地元の要望に対し、検討あるいは指導をするなり、行政として積極的に取り組む考えはないか。

二、現在、松浦・世知原間で西肥バスによる生活交通バス路線があるが、便数も少なく多額の補助金を出している割には不便を被っている。一方、笛吹を中心とした乗合バスが運行されているが、生活交通バス路線の区域は乗合バスは止められないため、途中回送車となり、松浦・笛吹間を利用する人達は大変困っておられる。そこで、本年10月の西肥バスとの契約更新を機に一本化し、経費の節減と併せて利便性の高い方策を検討してみる考えはないか。

他に、市内小中学校校舎等の耐震化について質問いたしました。

一、(1)計画区間の用地買収は76%まで進んでおり、家屋移転は2戸が移転完了している。19年度までの事業費は約8億円となっている。(2)用地買収の動向が、この事業進捗に一番の影響がある。地権者をはじめとする関係者のご理解、ご協力が順調に進むとすれば、あと4、5年で事業は完了できるものと考えている。(3)地域住民の総意としてそういう要望があるとすれば、県の公安委員会等への要望作業を進めてまいりたい。

二、現在、「松浦市乗合バス見直し検討委員会」において、総合的な見直しを行っているところである。補助金等の削減と利用者の利便性を総合的に勘案しながら、今後のバス路線のあり方を構築してまいりたい。今後、そのような考え方を基本に、佐世保市、西肥バスとも協議してまいりたい。



一般質問

山口
山 議

- 一、松浦地区消防組合福島出張所の体制
及び市内消防施設の管理について
二、農業委員会の役割と行政との連携に
ついて

質問

答 弁

一、今年から消防分団が統合され、37分団が27分団に、団員も984名が899名になり、福島、鷹島の減が主である。そうした中、福島は4月1日から35年間お世話になった伊万里市消防署管轄から松浦地区消防組合管轄になるが、住民は不安である。そこで、(1)福島出張所の人員体制はどうなるか。(2)非常時の火災、救急体制等に関する伊万里消防署との応援協定はどうなるのか。(3)市内に多くの消防詰所、格納庫、防火水槽があるが、施設の重要性を考えたとき、建物、土地は市の所有とした方が良くと思うがどうか。

二、農業委員会は、各地区、各団体、議会からは女性委員も推薦し、広い範囲で農業問題を議論し、行政にも建議できる重要な組織と認識する。(1)農業委員会の主な役割及び活動内容は。(2)市長が農業委員会に出席して、農政方針、市政の動き等を報告する考えは。(3)農業振興には、行政との連携が必要と思うがどうか。

他に、福島診療所の医療体制について伺った。

一、(1)今までは8人体制の3交代制であったが、4月から9人体制の2交代制となる。伊万里市から2人派遣していただくこととなっている。(2)建物火災では、同時多発的に発生した場合に伊万里市消防本部に応援をお願いし、また、救急体制では、救急が同時に出た場合に伊万里市消防本部にお願いすることとしている。(3)公有地の方が望ましいが、これまで関係皆様のご理解のもとに無償貸与の形でご協力いただいているところでもあり、引き続きお願いしたい。

二、(1)大別すると、地域農業の構造改革の推進、農地行政の適正な執行、地域の世話役活動と農業者の公益代表の3つが役割である。農地法による農地の権利移転、転用等法令により必ず行わなければならない業務のほか、農地等の利用権の斡旋、農業者年金の委託業務等を行っている。(2)農業委員会は独立した行政機関であり、農業委員会のご判断にお任せしたい。(3)農林課とは常時連携を密にして業務を行っており、農機具等の課税についても担当課に説明してもらおう等連携した業務を行っている。